

連載



未来への扉²²

こども・子育て世代向けのお薦めの本を、図書館司書が紹介します。

問 ほんぽーと中央図書館
(☎025-246-7700)



にいがた市
電子図書館



『モチモチの木』

作：斎藤 隆介 絵：滝平 二郎
出版社：岩崎書店 発行年：1971年
市内図書館所蔵数：25冊

概要

豆太はおじいさんと山で暮らすちょっと怖がりな男の子です。夜のトイレへ1人で行けないほど臆病な豆太でしたが、ある晩、病氣のおじいさんを助けるため、勇気を出して夜道を駆け下り、医者と呼びに行きます。帰り道、豆太は勇気のあるこどもだけが見られるという、モチモチの木が光る光景を見たのでした。



紹介した本の
詳細はこちら

おすすめポイント

出版から半世紀にわたり世代を超えて愛され続けている本です。甘えと自立を繰り返しながら、成長するこどもの姿が描かれ、温かく見守る大切さを教えられます。切り絵風の挿絵が美しく、モチモチの木が輝く場面では、豆太の心の変化が印象的に表現されています。

電子書籍版では、パソコンやスマートフォンから気軽に読むことができます。親子で感想を話し合ってみてはいかがでしょうか。

連載

いきいきシニア⁶



地域とつながり、生き生きと活動するシニアを紹介します。

今回は、秋葉区金津地区で防災士として活躍する齊藤憲作さん(75歳)です。



▶防災士のほか、地域教育コーディネーターとしても活動する齊藤さん。
「こどもたちとの交流が、私の元気の源です」

心の声に背中を押されて

長年地域の安全や暮らしを支える仕事をしてきた齊藤さん。2011年の定年退職後、東日本大震災の様子をテレビで見て「自分にできることはないか」と考え、地元の秋葉区金津地区で地域の安心・安全を守る活動を始めました。2018年には防災士の資格を取得し、防災訓練や出前講座に積極的に取り組んでいます。



自分を大切に、日々精進

「人の命に関わることから、いいかげんなことは言えない」と日々学び、家の中の危険や日常の備えの大切さを地域住民に伝え続ける齊藤さん。毎年開催する防災訓練は約200人も地域の人が参加しています。顔の見える関係が協力意識を高め、地域の安心につながっていると感じています。

齊藤さんは「自分が健康でいることが活動の基本。無理なく続けられる範囲で、できることを精一杯地域のためにやっていきたい」と笑顔で語ってくれました。

◀災害時に必要な簡易トイレの組み立てを実演する齊藤さん

「ごみ関連チャットボット」の活用を

ごみの分別方法や収集日、粗大ごみの処理手数料などの問い合わせにAI(人工知能)が自動で回答します。パソコンやスマートフォンから24時間利用することができます。



LINE版は
こちら



WEB版は
こちら

年末大掃除のごみ出し方を再確認しよう



新潟市ごみ減量
推進キャラクター
「サイチョ」

年末の大掃除などで家庭から出たごみは、資源とごみに正しく分別して処分しましょう。

問 廃棄物対策課(☎025-226-1407)



POINT 1

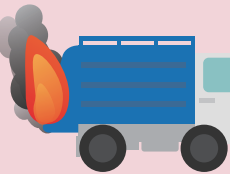
特定5品目(乾電池類、蛍光管、水銀体温計、ライター、スプレー缶類)

- 指定の日に、中身の見える透明か半透明の袋に入れて出す
- ライターとスプレー缶類は必ず使い切る

⚠ 電池やバッテリーを取り外せない製品は「特定5品目」へ

電子たばこやモバイルバッテリーなどの充電式の家電製品を、燃やさないごみで出したことが原因の発火事故が発生しています。収集員や周囲の安全のため、必ず分別をしてください。

電池類を取り外せないときは、無理に分解せず、製品本体ごと「特定5品目」として出してください。



POINT 2

プラマーク容器包装

- 指定の日に、中身の見える透明か半透明の袋に入れて出す
 - 中身を使い切り、汚れを取り除いてから捨てる
 - 汚れが取れない場合は「燃やすごみ」へ出す
- ※プラマーク=右=の付いていないもの、プラスチック製品そのものは「プラマーク容器包装」に出せません。「燃やすごみ」へ出す



▲プラマーク



POINT 3

粗大ごみ

- 粗大ごみ受付センターにインターネットか電話で収集を申し込む
- 粗大ごみ処理券を購入する(市内スーパーマーケット、ドラッグストア、コンビニエンスストアなどの小売店や区役所、出張所で販売)
- 処理券を見える所に貼り、収集日の8時までに指定の場所に出す

粗大ごみ受付センター

☎025-290-5353 FAX 025-290-5371(聴覚障がい者など専用)

受付時間 9時～17時 ※日曜、祝・休日、12月29日～1月3日除く。インターネットでの申し込みは24時間受け付け。年末年始の電話受け付けは大変混みます。日にちをずらして連絡するか、インターネット受け付けを利用してください



詳しくは
こちら



POINT 4

古紙類

- 品目ごと(新聞・雑誌・雑がみ、段ボール、紙パック)に分けて出す

新聞：四つ折りにし、まとめてひもで十文字にしぼる

※折り込みチラシも可

雑誌・雑がみ：まとめてひもでしぼる、または、中身の見える透明・半透明の袋に入れて出す

段ボール：折り畳み、まとめてひもで十文字にしぼる

紙パック：水洗いして切り開き、乾燥させる

大きさをそろえて、ひもで十文字にしぼる

- 汚れた紙、防水などの加工された紙、臭いのついた紙は「燃やすごみ」へ出す

